

科目名	言語の構造一般Ⅲ(対照言語学)
授業の目標・ねらい	日本語教授時に活用できる対照言語学の知識を理解し、指導時の技術に結びつけることを目的とします。前半では、対照言語学の意義と概念について確認します。後半では、談話分析について概観します。また、各母語話者の「母語の干渉」による日本語の間違いなどについて考察します。
授業内容・授業方法	【1回目】 1. 対照言語学(対照分析・対照分析仮説)について学びます。 2. 言語転移(正の転移・負の転移)について概観します。 3. 日本語表現の特徴について考察します。 【2回目】 4. 談話分析研究について具体例から学びます。 5. 日英の会話分析を概観し、検証します。 6. 日本語発音の特徴を捉え、英語と対照します。
予習・復習	事前に日本語と英語の違いについて考えてきてください。講義後には指定された資料を読み復習してください。
使用テキスト	プリントを配付します。
参考書等	
講師	佐藤明彦
所属	
研究分野	音韻論、英語教育
講師紹介	英語と日本語の音韻論について研究しています。母語にない音は異なる調音点・調音法で作り出さねばならず、学習者にとって難しい発音となります。その解決のため、音の現象を規則的に捉え、明らかにすることで言語教育に役立てていきたいと思っています。